

無駄を省き、都民の命と財産を守ります！ 賢い税金の使い方を！

プロフィール & メッセージ

- 銀行の派遣社員 ●就職氷河期世代
- 東京都子育て支援員 ●東京在住30年

7年間、腐った政治への怒りから政治ボランティアに励んでいました。養育費を貰わずに15年間シングルマザーとして子育てをし、都立農業高校食物科を卒業した息子が就職したので、余生は世直しに捧げようと思いましたが、政党に所属すると利権が絡み日本国民にとって大切な情報を伝えられない為、完全無所属の道を選びました。学歴も華々しい職歴もありませんが、お金に流されず同調圧力に負けない勇気があります。大切な情報を伝え、都民の命と財産を守る為に闘います。都議会議員の年収は2200万円、雇用主は私たち都民です。どうか投票に行き、我々の税金と若者たちの未来を守ってくれる議員を選んで下さい。



都民の皆様にも真実をお伝えしたく、様々なSNSで発信しています。是非ご覧ください。

作本純子さんを推薦します

おかしいことをおかしいと言える、真っすぐに、東京のこと日本のことを考えている人だと思います。

近現代史研究家
ノンフィクション作家

林 千勝 はやし ちかつ



作本純子の5つの提案

① 税金の無駄遣いを全力で止める

経済効果に疑問がある「64億のプロジェクトマップ」や「799億の東京アプリ」ではなく、水道管交換、PFAS対策、「お米券」配布等、税金を都民の暮らし優先で使うよう訴えます。

② 食料自給率向上と多摩格差問題改善

食料自給率 0% の改善を目指し、農業専門公務員枠の創設、都民農園新設や農家さんへの充分な支援を求めます。自由に学べるフリースクールを作り移住を促す事で、多摩格差問題に取り組めます。

③ 子育ての不安をサポート

親御さんの精神的経済的サポートの為、育児カウンセラーの強化、3歳迄の子育て世帯への年収に応じた家賃補助で「子供を愛せる余裕ある暮らし」を守り、産んで良かった、生まれて良かったと思える東京を目指します。



④ 東京の土地と日本人企業を守る

金融系外国企業に年間二千万の補助金、新築住宅に義務化された太陽光パネル業者（多くが海外企業）に2百万の助成金など、税金が海外企業に流れるのを止め、土地が外国人に売られるのを阻止し、日本企業への投資や商店街復活など古き良き日本文化を守ります。

⑤ コロナ対策の検証を求める

PCR事業者の水増し請求や休業補助詐欺を生み、若者には学校閉鎖と黙食、大人はオリンピック。莫大な予算を使い全く一貫性のないコロナ対策でした。国立感染症研でエボラの研究が行われ、次のパンデミックが囁かれてる今、5年間のコロナ対策の検証とワクチン被害者へのフォロー体制構築を求めます。



作本純子

さくもとじゅんこ

無所属

51歳